

活動紹介



三重大が「世界に誇れる環境先進大学」の構築を目指す道程において、私たち環境ISO学生委員会は学生目線の活動を学内・学外で行っています。学生および地域住民の環境マインド(環境を思いやる気持ち)の向上を理念として、3R活動・緑化活動・地域連携活動・放置自転車対策活動・広報活動・イベント活動に学生主体で取り組んでいます。

地域連携活動

地域住民や企業の方々と連携して大学近隣の海岸や県内の干潟を清掃しています。また、地域の小学生を対象に環境学習を行ったり、県内の環境イベントゲームや工作を通じて楽しく環境について学べるブースを出展したりと、積極的に地域の方々との交流を図っています。



町屋海岸清掃

広報活動

環境ISO学生委員会の活動をより多くの方々に知っていただくため、学内掲示板や意見箱、HP、Twitterを活用して学内外に情報を発信しています。



環境ISO学生委員会 HP画面



Twitter画面

イベント活動

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、制限された状況での活動ではありますが、当委員会では様々なイベントに積極的に参加しています。地域における幅広い世代の方々に私たちの活動を知ってもらい、環境への意識を持ってもらえるよう、イベントを通じた広報活動をこれからも積極的に継続していきます。



イオンモール津南×三重大連携イベント

3R活動

学内の資源の循環・有効活用を目指して、古本や家具家電のリユースイベントを開催したり、学生のごみの分別意識を高める呼び掛けをしています。

リサイクルトレイの回収普及活動



リ・リバック回収ボックス

古本回収・譲渡



古本回収ボックス

エコキャップ回収・譲渡



譲渡の様子

リユースプラザ in三重大



家電を運ぶ様子

緑化活動

緑のカーテン、屋上緑化、学内で集めた落ち葉を活用した堆肥づくりを行い、緑豊かなキャンパスづくりに取り組んでいます。



緑のカーテン



放置自転車対策活動

回収した放置自転車の一部を修理し、リサイクル自転車として留學生に譲渡しています。



自転車修理



学生の環境活動

ESD-SDGsクラブ



「三重大学ESD-SDGsクラブ」は、在学生と留学生と共に、ESD-SDGsの達成を目指した活動として、三重県の自治体との連携によるSDGs講演会や展示会を通じた普及啓発活動、地元企業のSDGs経営講演会、伊勢湾の環境保全活動、国際学会での研究発表および国際交流活動を通じた世界の若者とのコミュニケーションおよび協働活動を通じて、ローカルとグローバルをつなぐ、グローバル活動を積極的に行っています。



国際交流活動として、2021年7月に、日本を含む太平洋島諸国の首脳や閣僚がオンラインで参加した、第9回太平洋・島サミットにおいて配信された、三重県PR動画にメンバーが出演し、県内学生が取り組む環境活動について報告しました。三重県知事から委嘱されたみえグローバル学生大使、三重日中友好協会日中友情サポーターとしての活動など、三重と世界の架け橋としての活動を行っています。

三重県の脱炭素宣言の「ミッションゼロ2050みえ～脱炭素社会を目指して」の推進のために、2020年度から活動を開始している「若者チーム」への参画、三重県のサステナビリティレポートを策定する委員会へ大学（院）生初の委員としての参画など、三重県との連携も積極的に進めています。

「研究活動では、2020年10月に開催された、「第12回地域イノベーション学国際ワークショップ(IWRIS2020)」において、メンバーが最優秀論文賞、優秀論文賞を受賞、さらに、2021年7月に開催された、「第12回台湾フィリピン日本国際会議」での研究発表などを行い、国内外から高い評価をいただきました。その研究成果は、三重大学国際環境教育研究センター主催の「2030年のSDGsアイデアコンテスト」で最優秀賞と優秀賞の受賞に結び付くなど、それぞれのメンバーの頑張りがクラブの発展に寄与しています。

若者は「次世代」であると同時に「当事者」でもあります。私たちにできることはたくさんあるとクラブ活動を通じて実感でき、SDGsの2030年、2050年の脱炭素社会・カーボンニュートラル社会形成の主役として、これからも学びながら成長していきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



学生・教職員の環境活動の見える化

MIEUポイント



目的と要点

1. 学生と教職員が、学内で環境活動を実施することで、三重大の環境改善へ結び付ける。
2. 個々の活動が継続して実施出来るように、学内共通した「個人の努力」を「見える化」する環境ポイント付与制度を創設。
3. パソコン、スマートフォン等を利用して、ポイント付与に伴う行動の制約を取り除く。
4. 活動ポイントは、個人のみならず、大学全体の環境活動の成果としても評価できるようにポイント集計。
5. 活動内容に応じてポイントを付与して、獲得ポイントに応じて景品と交換することで活動のインセンティブとする。



MIEUポイントは学生への**授業（環境教育実践）**を開講して、環境活動をする学生を育てています。

授業カリキュラムに組み込むことで、自主的な環境活動をする意識を芽生えさせるのみではなく、どのようなインセンティブ（ポイント）が環境活動の継続に繋がるのかを考え学ぶことから、必然的に授業を履修する学生には、交換する環境配慮製品の選定にも目を向けることができます。



授業（環境教育実践）

MIEUポイントとは

本学では、学生・教職員が学内で実施した環境・省エネ活動を「見える化」し、活動内容に応じたポイントを付与して獲得し貯めたポイントに応じて、希望する物品との交換できる仕組みを持ったMIEUポイントシステムを平成24年度から実施しています。

MIEUポイントの「MIE」は三重大学の「MIE」、「U」は「University」の意味と、「You」の意味「がんばる“あなた”」を表しています。

大学初となる
「エコマークアワード2019 優秀賞」
を受賞!!



【主催】
公益財団法人日本環境協会
エコマーク事務局

活動内容

「三重大学自然環境リテラシークラブNELC」(以下NELC)は、自然と共生するとはどういうことかを実際に自然の中で体感し学ぶこと、学んだことを多くの人に伝えること、活動の地域への還元の3つを大きな目的とし、アウトドア活動だけでなく、博物館での展示企画や地域のお祭りへの参加など様々な活動を行っているサークルです。

1 自然の中で学んだことを人に伝える

私たちNELCはただアウトドアを楽しむだけでなく、自然の中で得た知識や体験を後輩らや、地域の皆さん、子供達に伝える活動をしています。学生ら自身がカヤックベーシックの資格を取り、自然環境リテラシー実習にて受講生らへの指導を行ったり、三重県総合博物館や熊野市かがく・こうさくフェスタなどで自分たちの活動に関する展示企画を行うなど、幅広い年齢層の方々に向けて自分たちの活動を伝える活動をしています。



2 自然の中での様々な活動

私たちは尾鷲や南伊勢など、南三重を中心にカヤックや山登り、サイクリング、シュノーケリングなどアウトドアの活動を幅広く行っています。夏休みに隠岐島でお米や野菜以外の食料を釣りや魚つきなどで得る隠岐島半自給キャンプや、12月に南三重の海岸沿いの熊野海道77キロをカヤックで3泊4日キャンプをしながら漕ぎ渡る熊野海道ツーリング、尾鷲の八鬼山での地元の小学生らとスラックラインやサバゲーなど自然を安全に満喫できる活動を行っています。



3 地域への還元

私たちの活動は活動させて頂いている地域の皆さんの賛同や、ご協力のもとになりたっています。地域の皆さんへの恩返し、という意味も含めて地域の皆さんと一緒にさまざまな活動を行っており、尾鷲や明和町、南伊勢など三重県南部の小学校での自然体験プログラムのお手伝いや、明和町での満月屋台や須賀利の蛭子祭にアウトドアの経験を活かしたメニューを提供する出店の出店など、さまざまな地域にねざした活動を行っています。



学生の環境活動

Bio Record (標本サークル)



当サークルは三重県内において昆虫、植物を中心とした生物を調査・採集し、標本を作成、保管し三重県総合博物館への標本の寄贈を行ったりしています。学祭では、標本の展示やポスターを通して標本の意義や三重県の生物について皆さんに発信するという活動もしていました。

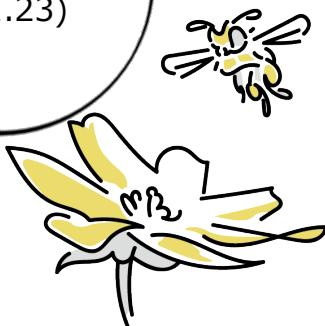
我々が作成している標本というものは、その生物が持つ特徴の直接的な情報源となります。採集された生物を標本にして保存しておけば、その種にどのような形態的変異があるのかを、簡単に調べることができます。

また、標本をいろんな時期、地域で作成することで、その生物の季節ごとの変化や地域間の違いを知ることができます。生育環境が気候変動や人の活動によって変化することで特定の生物種が絶滅したり、外来種が入ってきたりすることもあります。そうした際、標本はその生物がその時その場所にいたという証拠となり、環境の変化を知る手がかりにもなります。

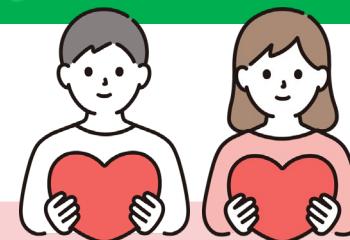
標本はこうした自然環境を知る上で大変意味のあるものでありますし、身近な生物について標本作成活動を通して知るということは生物の多様性、環境保全を考える上では必要なことと思います。これからも我々はサークル活動を続け、多くの標本を作成、保存していきたいと考えています。



学祭での標本展示
(H30.11.23)



献血推進サークルヴァンパイア



私たち献血推進サークルヴァンパイアは、三重県内の若年層への献血普及活動を行っています。

皆さんは三重県の若年層の献血比率が全国47位という事実をご存じでしょうか？三重県内の献血できる場所は四日市、津、伊勢の3カ所にしかなく、献血になじみがない点が最下位という結果につながったと考えています。そのため、私たちヴァンパイアは献血ルームのない地域で呼び込み活動を行ったり、どのようにすれば献血を身近なものに感じてもらえるか考えるミーティングを行ったりと意欲的に活動しています。

しかし、近年は特に新型コロナウイルス感染症の影響により全国的に献血者が減少しています。呼び込みが中止になる中で、ヴァンパイアは新しくSNSを開設しました。若年層にも楽しんでもらえる投稿をすることでコロナ禍以前よりも広く献血について周知できていると感じています。

SDGsの3つ目の目標である「すべての人に健康と福祉を」を達成するためには献血も必要であると考えています。未来の献血を支える若年層への献血の重要性の周知と親しみを広めていきたいです。



呼び込み風景(R2.12.20)



呼び込み看板づくり(R3.7.17)